

島村渡船フェスタ 川に親しみ 地域で楽しむ



水面を軽快に進む渡船



これから乗船 行ってきます



伝統的な祭ばやしの演奏

5月19日、境島村の利根川両岸で「島村渡船フェスタ」が開催されました。晴天に恵まれたこの日、会場ではたくさんのイベントが行われ、多くの家族連れでにぎわいました。船の上は心地よい風に吹かれ、乗船した人たちは楽しいひとときを過ごしました。

利根川右岸では、世界遺産登録を目指す「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産の一つである田島弥平旧宅の見学ツアーが企画されました。参加した人たちは、ボランティアガイドの解説を聞きながら大型養蚕農家群を巡り、本市の由緒ある歴史の一端に触れました。

全国青少年アウトドア綱引競技大会 力を合わせて準優勝



チームで頑張っ準優勝

5月19日に栃木県大田原市で開催された「全国青少年アウトドア綱引競技大会」に、豊受小学校と坂東小学校の児童で構成するISESAKI豊受チームが出場し、小学生以下のジュニアの部で見事、準優勝を果たしました。5月29日、チームのメンバーが市役所を訪れ、「優勝は逃したけれど、頑張ったのでよかったです」と市長に入賞の喜びを報告しました。

スポーツ少年団総合開会式 青空の下 爽やかに宣誓



選手宣誓をした吉田君(左)、川田君(右)

本市のスポーツ少年団が一堂に会し、競技種目を超えて交流する「スポーツ少年団総合開会式」が、5月12日に市陸上競技場で行われました。

団員を代表して選手宣誓をしたのは、宮郷柔道スポーツ少年団の吉田峻介君と、赤堀柔道スポーツ少年団の川田一心君。柔道着姿で登場した2人は、正々堂々と競技することを大きな声で誓いました。



楽しいフラワーアレンジ



空から眺める花畑



きれいなお花の前で



直径50メートルの大花壇



商店前にもにぎやかな花壇



ペロタクシーから花を觀賞



からくり時計もおめかし

「花と緑のぐんまづくり2013 in伊勢崎」が、4月20日から5月19日まで、開催されました。約100種10万株の花と緑で彩られた会場には、30日間で約29万人の人が訪れました。

メイン会場の波志江沼環境ふれあい公園でひとときわ目を引いたのは、水と太陽をイメージしたデザインの「みんな大花壇」。青やオレンジ、ピンク色の花畑が広がりました。また、ハンギングバスケットや市内の小学生が親子で作ったお絵かき花壇など個性豊かな作品が展示されました。花に水をあげるなどボランティアの皆さんの協力もあり、最終日まで訪れた人が花を楽しむことができました。

花を育て、緑をつくることは、人の心を豊かにしてくれ、人への思いやりの心を育ててくれます。本市では、今後も心豊かで思いやりにあふれたまちづくりを進めていきます。



山中さんが育てたバラ

「わが家の庭はバラを約50株植えてある、カントリーテイストのナチュラルガーデンです。バラだけでなく緑もたくさん植えて、バラが映える、一年中楽しめる庭作りがコンセプトです。バラは農薬がないと駄目と言いますが、無農薬で頑張っています。庭は手塩にかけた子どももみたく、オープンガーデンの開催期間中は予想よりも多くの人が来てくれました。今回をきっかけに交流が持てそうです。緑でつながる、人の縁ですね」



山中ユカリさん

自宅の庭を一般の人に開放するオープンガーデンに参加した、山中ユカリさん(田中島町)に話を聞きました。

TOPICS

花と緑のぐんまづくり2013 in伊勢崎
いせさがき花と緑でいっぱいになった30日間



オープンガーデンいせさがき

自宅の庭を一般の人に開放するオープンガーデンに参加した、山中ユカリさん(田中島町)に話を聞きました。